

すぎのこ通信

http://sugimorikenji.info http://ameblo.jp/gil8/



2017新春号

発行/杉森けんじ後援会 TEL.090-6098-1134

新春のご挨拶

日頃は、杉森けんじ後援会の活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。おかげさまで議員活動四年目を迎えることができました。地元地域の活動、また地方創生を目的とした地域連携、若者の社会参画の取り組みなど活動の幅を広げることもできました。選挙権年齢の引き下げやマイナンバー制度の導入など社会の動きもめまぐるしくなってきました。その中でも、国は経済最優先の政策を掲げ、一億総活躍社会の実現に向け現在取り組んでいます。女性活躍推進や、社会的弱者の方々が活躍できる社会づくりがこれからさらに求められます。スローガンに掲げている笑顔あふれる人にやさしいまちづくりのために、今後も皆様の声を大切に政策提言を行い取り組んでまいります。

長泉町議会議員 杉森 賢二

長泉町議会議員
杉森 けんじ Kenji Sugimori

広報広聴常任委員会 副委員長
総務民政常任委員会 委員
議会改革特別委員会 副班長
会派 新緑

【所属】

自由民主党静岡県連 青年局長 次長
自由民主党長泉町支部 青年部長 広報委員長

静岡県立沼津商業高等学校 卒業
産業能率大学短期大学 経営管理 卒業
法政大学大学院 政策創造研究科 修士
坂本光司研究室所属
クレスキューフカンパニー CEO
(株)フリーシェアードジャパン(新卒サイト運営事業) 顧問
NPO法人 富士山ドッグパレー推進協議会 顧問
NPO法人 歴史民話文化学会 顧問
NPO法人 スルガBVC 顧問
一般社団法人ウェルカムトゥージャパン
(教育・インバウンド支援事業) 顧問
沼津商業高等学校同窓会 理事



地元の要望を町政に届けます！

区長と先輩議員と連携して『笑顔あふれる人にやさしいまちづくり』の実現に取り組んでいます。



環境保全活動を推進

騒音問題を委員会の皆さんと協力し、町や団体へ要望。いよいよ騒音対策に入ります。



枝の剪定要望を受け現地を確認

区民の声が大切な情報源。道路をふさいでしまう枝を剪定。



町内通学路で危険な箇所を改善

鮎巻、竹原地区など、通学路の危険と思われる箇所の要望を受け、提言し、改善されました。



既存公園の新たな整備を要望

遊具も含め、既存公園の新たな整備が始まる予定です。小公園には水道が設置、自然公園のトイレの改修工事も始まります。

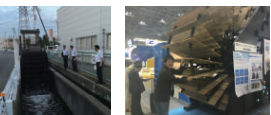


下土狩にて街頭からの訴え

ビジョンを掲げ、政策をお伝えします！

景観・環境に配慮したサインを

同じ看板でも環境や景観に合わせ配慮した案内板を提言。



水車型小推力発電を推進

地域に根差した環境配慮型のエネルギーとして、計画段階より推進。町内に2号機3号機と続きます。

青年は創り続ける
自民党静岡県連青年部青年局長の挑戦
ラグーナ出版
平成28年12月15日出版
1,500円+税



なぜ静岡の人口は減り続けるのか？

静岡の現状を浮き彫りにし、新たな政策を問うため、同士の若手議員に政策プロジェクトチームリーダーとして呼びかけ、静岡創生を目的とした書籍を執筆しました。この本では、最初に「ランキングデータ分析」で、各分野の中で静岡県が今どのような状況にあるのかをデータをもとに説明します。そして、総論「青年の力、都市の可能性、この本の未来」では、静岡の現状と未来図から見た全体的な課題と展望を整理し、各論の「静岡創生」未来に向けた私たちの政策提言」で、個別の課題を追求し、改善策を盛り込んだ政策提言を行いまわっています。

内閣総理大臣 安倍晋三総裁推薦
「青年たちの提言が、地方創生を加速します
自民党青年部・青年局初刊の書籍提言を応援します」

Amazonでも好評販売中！

シリアルアントレプレナーとして 高校で社会体験、大学で講演を

日本の企業のうち、99.7%は中小企業と言われていています。また、日本企業の約70%が赤字会社とも言われています。この日本、そして地方を元気にするためにも、これからいろいろな可能性を持つ高校生、大学生の活躍は大いに期待されます。現在、地元高校生の職業観教育を目的に、職場体験や、イベント体験、職業講話などを行っています。経営者の心構えや経験談などを伝え、高校生との対話を大事にしています。また、産業技術大学院大学にて、起業塾の講師としてシリアルアントレプレナーセミナーの講演を行いました。将来起業を考えている学生に対し、起業の準備や、考え方、ポイントなどを説明し、質問に答えました。また、パネルディスカッションにて、学生との意見交換を行い、これからのビジネスを模索していきました。今後も、自らの経験を活かし、将来を担う学生たちとの対話を大切に、若き企業家の育成に取り組んでまいります。



編集後記

この冬、長泉町で初めて実現した「長泉夢花火」。私自身も準備・運営に携わり、無事に開催することができました。全てが手探りの初めで尽くして行き届かない点ばかりでしたが、多くの皆様の募金と協賛によって鮮やかに咲いた大輪の花に、結集された力の大きさを改めて痛感しました。この町を包み込んだ皆さんの笑顔は何よりの宝物。もつと、ずっと、笑顔の絶えない長泉町を、みんなの力で創っていきましょう。

編集/杉森けんじ後援会
後援会長 宇佐美 祐三

ご入会のお知らせ

地域で広げる
支援の輪！
杉森けんじ後援会

後援会では、すぎのこ通信発行、講演、報告会等をご案内させていただきます。入会金・会費等は一切かかりません。なお、お預かりした個人情報には、上記目的以外には使用いたしません。

お申込みは、メール、FAX、郵送で

〒411-0931
駿東郡長泉町東野143-34
E-mail: gil8kenji@gmail.com
FAX.055-943-9640

ご家族・お友達等も是非ご紹介ください

フリガナ お名前	TEL	FAX
フリガナ ご家族様	E-mail	@
ご住所	facebook 友達申請もお気軽に。 議員活動から日頃の私生活を含め、皆様とのコミュニケーションにSNSからも積極的に発信しています。	

Pick Up!

長泉町議会

3月・6月・9月・11月定例会

杉森けんじの一般質問討議



3月テーマ

① 子育て教室の充実を

6月テーマ

① 健康長寿のまちを目指して

② 町が取り組む地球温暖化対策は

9月テーマ

① 経済効果をもたらす観光事業促進を

11月テーマ

① 町行政組織機構の見直しを

② さらなる情報発信の提供を

No.1 子育て支援の充実を

Q 町民に負担がかからないための環境整備が必要と考えるが、子ども・子育て支援事業の現状と進展、今後の環境整備は。

A 幼稚園の認定子ども園化を進めている。また、0歳児から2歳児までを受け入れる小規模保育事業所2カ所を町で認可し、園児の受け入れ枠の拡大を図る。長小の放課後児童会を、力所増加する。待機児童早期解消のため、スピード感を持って進めていく。

Q 児童虐待の対策を。

A 関係3課で毎月定例会を開催し、支援が必要な児童や家庭の情報を共有化し、保育園、幼稚園、小中学校と連携し、子どもの生命を守ることを優先に、児童虐待の防止に努めていく。

No.2 町の広報イメージ戦略は

Q 若い世代のまちづくり参加に対する町の考えと団体への支援は。

A 若い世代が活躍しやすい環境整備を更に推進する必要がある。協働によるまちづくりを推進する事業に対し、支援を図るため、28年度に補助制度を創設する。



No.3 健康長寿のまちを目指して

Q 生活習慣病の具体的な対策は。

A 保健師や栄養士が事業所に出向き、健康教育などを行っていく。また、企業や事業所と連携し、いずれは国民健康保険の被保険者となる可能性の高い働き盛り世代の健康増進を図っていく。

Q ヘリコプター・ロビ菌検査、治療への助成を。

A 胃がんの発生予防のひとつの方法として、国内での実施状況などを参考に、今後検討していく。

Q インフルエンザ予防接種の助成を。A 県内でも予防接種費用の助成を行っている自治体もある。町としてどのような支援が実施できるか検討していく。

No.4 町が取り組む地球温暖化対策は

Q これから広域連携を行うことが重要な決断だと思いが、エネルギー活用が可能な焼却場の広域連携共同整備の考えは。

A 環境省の通知によると、広域化の規模は市町村ブロック化の地理的条件、社会的条件を設定し、エネルギー回収の効率化、処理の安定化、処理費の縮減に配慮した施設は、1日あたりのごみ量300t程度以上の規模とするのが望ましいとされている。



No.5 経済効果をもたらす観光事業促進を

Q 景観形成基本計画にある眺望点の指定をフォトスポットとしての利用も視野に入れ、良好な眺望景観を観光スポットにする考えは。

A 眺望点はフォトスポットとしても利用が期待されるものであり、町民意向の把握や必要な環境整備の検討を進める中で条件が整えば指定していきたい。

No.6 さらなる情報発信の提供を

Q インターネットメディアで情報発信を展開する考えは。

A リアルタイムでオンエアーすることができ、即時性があることなど、時代に即した情報提供のついでと認識している。また、企業や政府、自治体などの広報活動などで活用するケースも出てきていることから、今後の情報発信の手段として検討の必要性も認識している。先進的な取り組みの状況などを踏まえながら、町としての必要性を検討し、より効果の高い情報発信手法の調査研究を進めていきたい。

No.7 町行政組織機構の見直しを

Q 精神、身体それぞれの障がい者雇用の状況は。

A 身体に障害を持つ3人を任用、障がい者実雇用率は2.3%。法定雇用率が3%で満たしている。今後、法定雇用率の引き上げが予定されているため下回らないよう計画的に採用を行う。



Q 女性の感性や発想、コミュニティ形成が必要と考えるが、現在裾野野市と取り組んでいる子育て事業で、広域連携における女性活躍チームの設置の考えは。

A 両市町の女性職員からなるプロジェクトチームの編成など、両市町で検討したい。

No.8 戦略的なスポーツの推進計画を

Q 施設利用に向けたオンラインシステムの構築、導入など将来的な動きが必要と考えるが、指定管理者の選定など町の考えは。

A 公園の指定管理者制度を計画にあたり、募集要項にオンラインによる施設利用申し込みの項目を盛り込むなど積極的に進めていきたい。



快適な環境整備、地域活性化のため 幅広く、様々な活動に注力しています。

障がい者支援活動団体をサポート



四ツ溝柿ロードレースに参加

特別支援学校、授産所、就労支援施設を定期訪問。長泉ライオンズで福祉施設とロードレースに参加。障がい者支援活動をサポートします。

お花で街を鮮やかに



花いっぱい倶楽部の活動

長泉花いっぱい倶楽部の取り組みに参加。地元のボランティアの皆さんと共に、県立がんセンター 周辺を花で鮮やかにしています。

子育て支援活動



親子で参加子育てイベント

子育て支援の企画として、各種クリスマスグッズ作りの体験コーナーや、紙芝居、セラピー犬実演、抽選会など親子参加の交流を行いました。

歴史民話の継承を推進



特別授業長泉南小にて

戦争の悲劇伝えたい展の運営メンバーとして平和の願いを込めて参加。南小での特別授業にも参加しました。歴史民話の継承に向け日々取り組んでいます。

健康スポーツ活動の推進



空手道選手権大会にて

少年団や地元のスポーツクラブ、健康スポーツ活動をサポート。大会顧問や、時にはプレイヤーとして地元のスポーツ大会に参加。地域の健康増進、スポーツ振興を目指します。

地元企業の発展を支援



ジャカルタ国際会議にて

上場企業勤務時の経験、起業経験をもとに、企業の海外進出やビジネスマッチングをサポート。ジャカルタで開かれた国際会議に参加後、ジェトロ、日本大使館を訪問しました。

シニアクラブ定例会・グランドゴルフ大会に参加



区グランドゴルフ大会にて

地元シニアクラブの定例会にて、健康講座、認知症予防セミナーを実施。区のグランドゴルフ大会にも参加させていただきました。

区の夏祭り・行事に参加



スルガ平区夏祭りにて

区の祭りに遠藤町長、勝俣代議員も駆けつけてくれました。区の要望を受け、快適なまちづくりの実現に向けご尽力いただいています。

火葬場共同整備現地確認



共同整備現地確認

いろいろな情報が飛び交う火葬場の共同整備。村田裾野市議に案内してもらい正しい判断を行うための現地確認。

自民党青年局で同志たちと将来に向けた取り組みを

自民党青年局として、党本部で開催される合同会議に参加し、幹事長や、大臣と意見交換を行いました。私は、待機児童、子どもの貧困対策をテーマに質問し、現状と見解を確認しました。今後、少子高齢化が益々進み、働き方改革も進められます。その中で、地方ならではの政策を確立する必要があると私は考えます。これからも、与党議員として、地域の問題を町行政、県、国と連携をとり、目的の達成に向け取り組んでまいります。県連では、昨年に引き続き、若者の公募提案型政策コンテストを実施しました。決勝に進みプレゼン発表を行なった政策の中から、実際に私が一般質問で提言した内容もあります。これからも、未来ある若者の意見も大切に議員活動を行なっていきます。



自民党青年局合同会議にて稲田大臣と



合同会議後懇親会にて元青年局長小泉代議士と